

河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 評価シート

事業名称	河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業	
要素事業①	映画を活用したシティプロモーション事業	担当課 総合政策部広報広聴課 総合政策部政策企画課

	実施内容	参考指標	事業費(千円)
令和元年度実施事業	(1)シティプロモーション映像制作 下記6パターン、いずれも4種類(映画タイアップバージョンと長期使用可能バージョンの2種類を、日本語、英語の2言語)製作した。 ①自転車で文化財を巡るもの ②自転車で自然景観を巡るもの ③自転車で街並みを疾走するもの ④飲食店(臨時出店を含む)を紹介するもの ⑤観光地や住宅地を空撮したもの ⑥シンボルキャラクターが市を紹介するもの (2)撮影場所マップの印刷製本 20,000部	動画再生回数計:23629回 ※上記は令和3年3月10日時点のため、令和元年度事業評価には加味していません。	10,000
		(合計)	10,000

	【令和元年度評価】	【令和元年度の評価内容】
担当者評価	③効果があった	民間予算で実施されている映画製作と連動したことにより、市からの支出を抑えた中でも映画出演者やスタッフの協力を得ることができ、発信力のある製作物が完成した。 令和2年度以降の映画公開まで、およびそれ以降も使用できる素材であり、観光事業等との連携にも効果的なツールとなった。 さらに、映画出演者やスタッフが製作した質の高いツールであるため、映画のプロモーション時に同時に放映されたり、市以外の連携事業者等でも既に活用されているなど、相乗効果も生まれている。 一方で、令和元年度は製作期間としており、活用は令和2年度以降となること、KPIが目標値に達していないなど、今後の課題も残ることから、左記の評価とした。

評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、③「効果があった」、「④効果がなかった」

	【今後の課題・取組みなど】
改善	映画上映期間終了後も、令和元年度に制作したツールを有効活用し、映画を資源としてシティプロモーションに活かす取り組みを検討していくことが課題である。

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業が事業の目標・KPI達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	